

米国 回復ペースは減速(09年10月製造業受注)

発表日：2009年12月8日(火)

～設備投資の回復力は脆弱～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

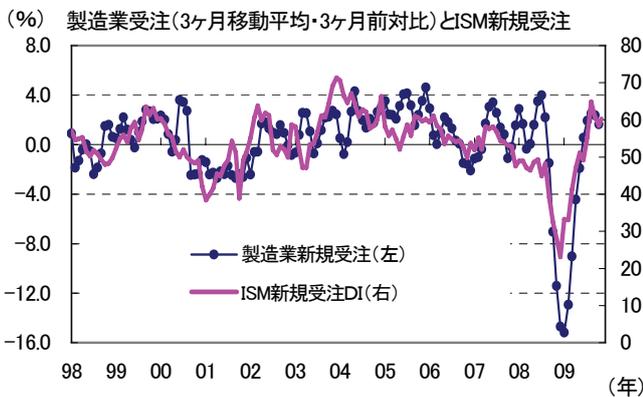
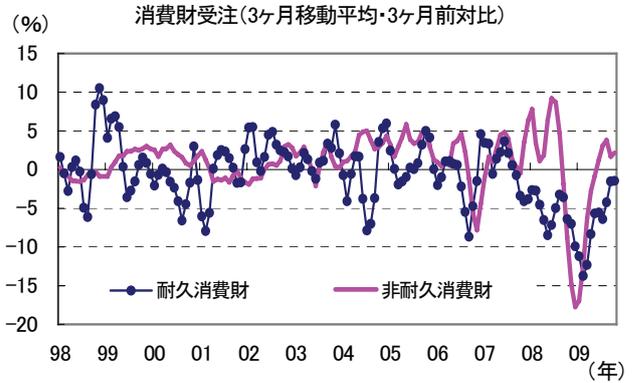
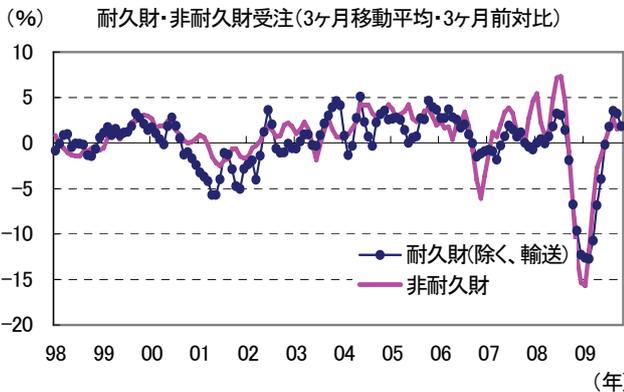
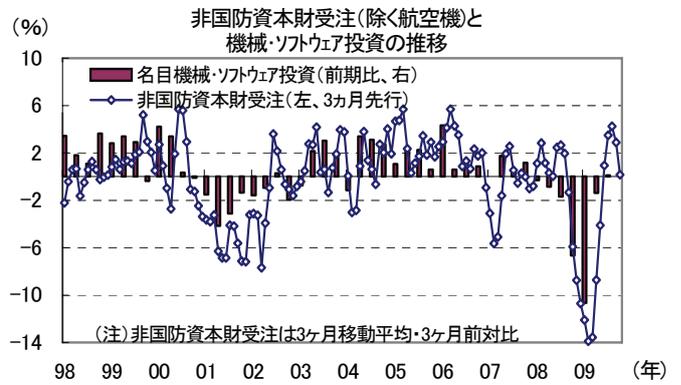
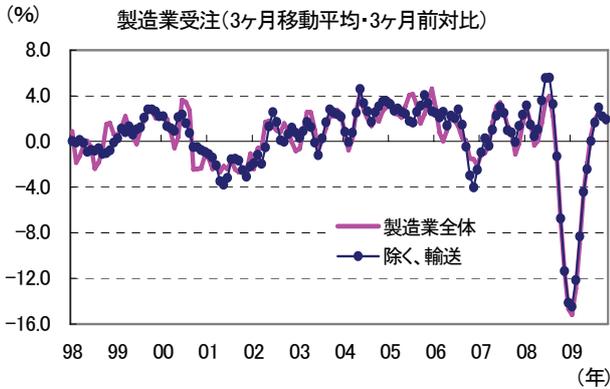
- 10月の製造業受注は前月比+0.6%（前年同月比▲10.6%）と、前月同+1.6%（同▲16.5%）に続き受注は増加した。内訳をみると、耐久財が機械受注の大幅な減少により、同▲0.6%（同▲11.6%）と減少した一方、非耐久財は同+1.6%（同▲9.7%）と3ヵ月連続で前月を上回った。同統計は単月での変動が大きいので、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、+1.7%（前月+2.4%、前々月+2.5%）と回復基調は継続したもののペースは減速した。また、振れの大きい輸送機器を除いたベースでも3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で+2.0%（前月+2.2%、前々月+3.0%）と回復ペースは減速した。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比▲3.4%（前年同月比▲13.0%）と前月同+2.9%（同▲16.0%）から減少に転じた。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、+0.1%（前月同+2.9%、前々月同+4.3%）と伸びは鈍化しており、低水準の稼働率を背景に名目機械・ソフトウェア投資の回復力は脆弱さが窺える。
- 耐久財受注の内訳をみると、一次金属(前月比+4.3%)、加工金属(同+0.5%)は世界的な景気持ち直しによる金属価格の上昇に加え、在庫調整の進展により受注は上向いている。機械(同▲8.5%)は景気対策効果が一巡した可能性がある。コンピュータ・電子製品(同▲2.4%)は前月から減少に転じ、回復ペースは緩やかなものとなっている、電気製品・家電(同+2.7%)は3ヵ月ぶりに増加したが、住宅市場の低迷も影響し回復は緩やかなものとなっている。輸送機器(同+1.6%)は非国防航空機・同部品(同+50.1%)と上振れたのに加え、最悪期から小幅持ち直した自動車販売を背景に自動車・同部品が4ヵ月連続で増加した。家具・同関連製品(同+0.1%)は2ヵ月連続で増加したが、住宅部門低迷の影響を受け回復力は弱い。
- 先行きについては、国内外の景気持ち直しや在庫調整の進展に加えて、景気対策の効果により09年1-3月期を底に受注は持ち直してきたが、設備稼働率が低水準あることから設備投資需要の回復が弱いことに加え、雇用環境の悪化を背景に個人消費や住宅投資の回復力も弱いと見られることから、2010年前半にかけて3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で回復は続くと思われるが、回復ペースは緩やかなものに留まると予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注					在庫		
	製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財			
	除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機
08/11	▲6.5	▲6.8	▲1.3	▲6.5 (▲13.8)	▲6.0 (▲10.8)	+1.1 (▲5.1)	▲0.5	▲1.1	+0.0		
08/12	▲3.3	▲3.9	+0.1	▲4.9 (▲19.5)	▲5.4 (▲16.1)	▲5.9 (▲14.6)	▲1.9	▲2.8	+0.5		
09/01	▲2.6	▲2.4	▲9.4	▲3.5 (▲20.5)	▲2.4 (▲17.8)	▲12.3 (▲24.5)	▲1.1	▲1.2	▲0.8		
09/02	▲0.5	▲0.6	▲0.2	+0.7 (▲19.7)	+0.5 (▲16.1)	+4.1 (▲20.6)	▲1.3	▲1.5	▲0.9		
09/03	▲1.8	▲2.2	▲1.7	▲1.9 (▲22.3)	▲2.1 (▲20.0)	▲1.4 (▲20.9)	▲1.2	▲1.2	▲1.6		
09/04	▲0.5	▲0.5	▲2.9	+0.5 (▲22.9)	▲0.2 (▲22.3)	▲3.5 (▲26.0)	▲1.2	▲1.5	▲1.2		
09/05	▲0.8	▲0.0	▲0.4	+1.1 (▲22.8)	+0.9 (▲22.3)	+4.3 (▲22.6)	▲0.8	▲0.9	▲1.2		
09/06	+1.8	+1.9	+1.4	+0.9 (▲23.6)	+2.7 (▲22.2)	+3.8 (▲20.9)	▲1.1	▲1.4	▲2.2		
09/07	+0.3	+0.2	+0.3	+1.4 (▲23.2)	▲0.6 (▲23.0)	▲1.3 (▲22.2)	▲0.9	▲1.3	▲2.1		
09/08	▲0.2	▲0.1	▲2.2	▲0.8 (▲20.4)	+0.3 (▲20.0)	▲1.0 (▲21.2)	▲0.9	▲0.4	▲0.7		
09/09	+1.3	+0.6	+0.3	+1.6 (▲16.5)	+1.5 (▲15.2)	+2.9 (▲16.0)	▲1.3	▲1.0	▲1.2		
09/10	+0.8	+1.5	▲0.3	+0.6 (▲10.6)	+0.5 (▲10.2)	▲3.4 (▲13.0)	+0.4	+0.2	▲0.7		

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。 ()内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。